

学生記者が伝える徳島の魅力!

[主催]徳島県政策創造部地方創生局とくしまぐらし応援課 徳島県徳島市万代町1-1 / 088-621-2089

go to
美馬市・三好市編



洋ランの
6次産業化に取り組む

あんみつ館 (河野メリクロン)

美馬市協町

洋ランの生産販売や品種改良、抽出した成分を活かした製品開発などに取り組む「河野メリクロン」の展示施設を訪ねた。
●河野メリクロンは創業して50年近くになり、元々シンビジウムの種苗会社から始まりました。さまざまな品種を交配して苗を作り全国の花の生産者に販売する事業から始め、約30年前か



シャンプーやコンディショナー、入浴剤などオリジナル商品を展開。

らはランを原材料として化粧品や育毛剤などの商品開発をしています。ランの展示は11月から2月頃まではシンビジウムがメインで、3月から11頃は胡蝶蘭の展示がメインになります。自然豊かなこの場所でランを育て販売や展示をすることで、地域貢献につながっています。(幸崎)
●シンビジウムを中心に多種多様な洋ランが立ち並ぶ姿に思わず息を呑む。購入もでき、価格帯は千円以下のものから数万円のものまでさまざま。洋ランの成分を用いた育毛

剤「蘭夢」をはじめ、加工製品を取り扱っている。今後は、引き続きランの成分を用いた製品をもっと開発して、花の価値を高めていきたいと意気込んでいる。眺めるだけでもリラックスした気分になるので、ぜひ立ち寄ってほしい。(舟越)



案内してくれた河野メリクロンの藤井心さん。

人びとの交流と町の魅力を生み出す場

地域交流拠点施設「真鍋屋」

三好市池田町

葉タバコ産業の歴史がつまった商家が交流の場へと変貌を遂げている。
●レストラン&カフェ、自習室、会議室、居酒屋…。古民家の雰囲気が漂う空間に、これらが揃っています。真鍋屋は江戸末期から明治時代までたばこ製造業を行っていた歴史があります。やがて醤油や山林産業へと転



カフェレストランのMINDE KITCHEN。

業。その後、この建物は三好市に無償で寄贈されました。取材時、交流スペースにはたくさんの中高生たちの姿がありました。(中原)
●「〇〇してみんで?」を促したいという願いから「MINDE」の愛称がつけられた。食堂では週ごとに色々なランチがいただける。「みんなのスペース」は約20席あるフリースペースで、サークル活動や会議など市民の活動を支える場となっている。「みんなのデスク」は1時間100円、1日510円(学生は半額)で仕事・勉強の場として利用できる。将来三好市で起業や開業をしてみたい人は、トライスペースやシェアスペースの活用を検討してみ



てほしい。(舟越)
●昔のタバコ産業の名残のある蔵をリノベーション。交流の場、スタートの場、活躍の場となっている。2階にはコワーキングスペースがある。2階で天井を見上げると太い梁が見られる。歴史を感じる梁の下で、新しいアイデアを生み出せる環境がある。(野田)
●三好市に移住したいと考えている人に向けた滞在施設「お試し住居」のほか、移住者支援窓口、お試しオフィスもあり、地元の方が相談にのってくれサポートしてくれる。(藤原)

Student reporter



美馬市・三好市を取材した学生記者

川人翔(阿南高専3年)、幸崎凜恩(徳島商業高1年)、藤原秀太(徳島商業高1年)、野田万由(徳島大学歯学部5年)、舟越美由紀(徳島大学医科栄養学科2年)、中原永里加(徳島大学生物資源産業学部2年)

廃校を利用して紡がれる新たな可能性

ウマバ・スクールコテージ

三好市池田町

廃校になった旧馬場小学校を活用し、2021年に誕生。1日1組限定で校舎を1棟まるごと貸し切れる。宿泊室、キッチン、シャワー室、研修室などを完備。人と地域の交流の機会を生み出し、未来づくりにも繋げていく。
●標高419m。三好市を一望できる場所にあります。学生の合宿や、企業の研修・会議のスペースとして活用されています。特に面白いと思ったのは、社員のチームワーク向上を図るためのプログラム「企業研修×サバゲー」。その他にも自炊を勧めるなどチームワークを深めるための工夫が施されているのが面白く感じました。(中原)
●実際に企業の社員が団体で滞在し、新鮮な環境や体験を通して問題を解決したり、新たなアイデアを生み

出したりして、企業の成長に繋がっているのを聞きました。逆に様々な考えや職種の人に来てもらうことで、この施設と地域がさらに発展を遂げられる、いわゆるWin Winの関係であり、もともと学校だった場所の規模がここまで壮大なものにできることに感慨深かった。(川人)
●廃校をリノベーションしたこの施設は、サービスの充実したホテルではなく、常在のスタッフもいないので様々な面でセルフサービスとなっている。だからこそ、今までにない体験や発見ができると思う。(藤原)
●ウマバプロジェクトという、社会課題解決と経済好循環の両立に貢献する脱炭素化ビジネスパッケージの創出に

ついて話を聞きました。脱炭素を目指した取り組みであり、余った電力を不足しているところにおすそわけするというエネルギーの有効活用や、農地に太陽光パネルを設置し、農業と太陽光発電をどちらも行えるようにするために、AIを活用したスマート農業を取り入れることなどを目指しています。(幸崎)



キャビンタイプのベッド キッチンで自炊できる。を備える宿泊室。

うだつの町並みで藍染体験!

藍染工房

美馬市協町

伝統の藍染を気軽に体験できるスポット。藍染の歴史やすくも作りについて教わったあと、布を結んだりつまんだり、好きな染め方に挑戦した。
●うだつの町並みの景観を作る白壁の古民家や蔵たち。そのなかの一つに藍染工房があります。ハンカチやエコバッグなどを染められます。私はハンカチを藍色へ。好きな模様をつけられ、色の鮮やかさも調節が可能です。藍は人類最古の植物染料といわれています。染物の原料のほかにも、漢方として食べられていたという歴史も持っています。まさに万能!ハンカチを美しく彩り、そこに夜空の月と海



雨も一つの動きある作品の一部となり、鎖樋を雫が滴り落ちる音も一緒に楽しむことができました。(川人)

●シンビジウムをはじめとする花や樹木、柑橘などが吉田家住宅の歴史的雰囲気とマッチした展示が美しく、感銘を受けた。(藤原)



を映し出しました。(中原)
●化学染料を使用しない「天然灰汁発酵建て」という昔ながらの製法で作った染料を使って藍染体験を行っている。最初に染料に浸けた時は茶色のような色をしているが、浸けていくたびに藍色になり、最後水できれいに洗い流せばきれいな藍色が出てくることに驚いた。(藤原)

旧馬場小学校をリノベーション。



案内してくれた三好みらい創造推進協議会の丸浦さん(中央)と展望デッキにて。